



新型コロナウイルス感染症 対策について

問 本市においても、5月からワクチン接種が始まりましたが、接種の進捗状況について、予約状況も含めて伺います。

答 保健福祉部長 市では、さむ医療センターや成東保健福祉センターで行う集団接種と開業医が行う個別接種を併用で行っています。さらに、高齢者施設では、各施設担当医が施設内で接種を行っています。

次に、接種状況については、6月10日現在、高齢者施設も含め、9198回の接種が完了しています。

なお、予約状況については、接種券の発送直後は予約が集中するため、コールセンターへの電話がつながりにくくなる状況も発生しています。その際は、翌日に電話をいただくなど、しばらく

間を空けてから予約をしてくださるようお願いをしているところです。

問 ワクチンの供給量について、どのようなスケジュールで供給されているのか伺います。

答 保健福祉部長 現在、2週間おきに配送されており、必要なワクチン量がほぼ順調に入荷しています。

問 ワクチンの配送について、集団接種会場以外の開業医へのワクチンの配送状況およびワクチンの保存期間について伺います。

答 保健福祉部長 現在使用しているワクチンは、ファイザー社製のもです。マイナス75℃のデュープフリーザーから冷蔵庫へ移動し、冷蔵保存で5日間が有効期限であるといわれておりましたので、週2日、職員が各医療機関へ配送を行っています。

なお、5月末には、この冷蔵保存期間が5日間から1か月間に改定されたので、今後は、2週間に1回程度の配送に変更する予定です。

問 64歳以下の方のワクチン接種について、どのくらいの期間で完了する見通しなのか伺います。

答 保健福祉部長 高齢者のワクチン接種完了後、8月頃から接種を開始し、11月末までの完了を見込んでいるところです。

なお、5月31日付けの県からの通知

によって、ファイザー社製ワクチンの対象者が「16歳以上」から「12歳以上」に引き下げられましたので、その分も含めますと、接種完了は12月までかかるものと考えています。

ただし、ワクチン接種の年齢引き下げについては、医師会とよく協議したうえで、市の対応方針を決定していきたいと考えています。



ゼロカーボンシティの 取組について

問 ゼロカーボンシティの宣言を実現していくための具体的な政策について伺います。

答 建設環境部長 大きな取組としては、省エネ・再生可能エネルギーによる二酸化炭素排出量の削減と、排出される二酸化炭素の吸収源となる森林整備に取り組んでいくこととなります。

国・県の動向を見据え、太陽光発電や風力発電への転換等による再生可能

エネルギーの活用や省エネ対策として、公用車や公共交通の電気自動車化、吸収源である森林の整備、保全対策などに取り組んでいきます。

問 今年6月、国会で、プラスチック資源循環促進法が成立し、国においても、プラスチック回収を行う方向性が示されました。これまで、家庭から排出される容器包装プラスチック類の多くは、可燃ごみとして回収され、焼却されてきましたが、プラスチック類を燃やさずに、回収する方向に転換していくべきだと考えますが、市長の考えを伺います。

答 市長 プラスチック資源循環戦略は、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応するため、令和元年5月に政府が策定しており、市においても、この戦略に沿った取組を進めていくことは、非常に大切であると考えています。

また、ゼロカーボンシティの実現には、今までのプラスチックの3R(リデュース・リユース・リサイクル)に加え、再生材・バイオプラスチック利用の促進は重要な課題と認識しています。市としても、国・県の動向を踏まえながら、プラスチックごみの再資源化を図れるよう、取り組んでいきたいと思っております。